

登録コード	UAI18600	開講年度	2026					
授業題目	開発経済学特講				担当教員	YANG JIE		
					副担当			
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限			
				授業形態	講義			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・経済学，2 5 UAカリ・総人社・経済学，2 4 UAカリ・総人社・経済学							
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。				⇔	開発経済学のテーマに取り組むための基礎知識と経済学的アプローチについて習得すること		
	【経済学】専門知識に基づく論理的な思考の下に、地域・社会・経済について、必要な量的・質的データを採取する能力及び、採取したデータを用いた実証分析や社会調査を行う能力を有する。その分析能力を、地域・社会・経済の課題解決に多面的に展開できる応用力を有する。				⇔	・ 開発経済学の専門知識に基づく論理的思考のもと、当分野における研究の焦点と分析手法の発展を理解し、さらには政策課題への理解を深めること ・ 開発経済学のテーマに取り組むための情報収集力と分析能力を身につけ、地域・社会・経済の課題解決に多面的に活用できる応用力を養うことを目指す		
(2)授業の概要	本講義では、英文参考書「Empirical Development Economics」（Soderbom et al., 2014）または開発経済学のテーマに関連する学術論文を輪読する。ディスカッションやディベートなどのグループワークを通じて、貧困や所得格差の原因を理解するための基礎と、開発経済学の研究アプローチについて学ぶ。 ・ 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とする ・ ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前に連絡する ・ 遠隔授業の場合、授業の進行状況に応じて成績評価方法を変更することがある							
(3)授業計画	以下のような5つの具体的なトピックに沿って授業の目標を達成していく 第1回～第3回 An introduction to empirical development economics 第4回～第6回 Linking models to data I: determinants of income 第7回～第9回 Linking models to data II: determinants of growth and development 第10回～第12回 Modelling development and choice 第13回～第15回 Empirical studies in development economics ※授業の進行状況に応じて授業内容や課題の実施日を変更することがある							
(4)成績評価の方法	授業内での複数回課題や小テストで評価する ・ 各回のトピックに応じて、グループまたは個人での課題（ディスカッション、発表、ゲーム、ショートエッセイ等）を行う							
(5)成績評価の基準	下記の基準によって成績を評価する ・ 90点以上：秀（卓越している） ・ 80点以上90点未満：優（かなり上にある） ・ 70点以上80点未満：良（やや上にある） ・ 60点以上70点未満：可（その水準にある） ・ 60点未満：不可							
(6)事前事後学習の内容	この講義は60時間以上の時間外学習が必要となる ・ 講義資料の予習と復習、また参考書を講義の前後に読むことが望ましい ・ 授業中に提示する論文に加えて、Journal of Development EconomicやWorld Developmentなどの開発経済学系ジャーナルから関心のあるテーマに関連する論文を検索し、読んでみるのが望ましい ・ よく見られる開発課題とその取り組みを調べてみよう							
(7)履修上の注意	・ ミクロ・マクロ経済学および開発経済学を履修済みであることが望ましい ・ 開発経済学の実証研究に関する資料を輪読するため、統計学や計量経済学の基礎知識があることが望ましい							
(8)質問、相談への対応	オフィスアワーで個別相談可 ・ 事前にメール（yangjie@shinshu-u.ac.jp）でアポをお取りください							
【教科書】	指定教科書はなし ・ 配布資料を用いた講義形式 ・ 課題やレポートの提出方法や期限は授業内で指示する ・ 提出物については講義中や別資料にてフィードバックをおこなう							
【参考書】	参考書として以下の文献をあげる。個別の参考書や資料は講義中に適宜紹介する ・ 高橋 和志、樋口 裕城、牧野 百恵（2025）「実証から学ぶ開発経済学」有斐閣 ・ 大塚 啓二郎（2020）「なぜ貧しい国はなくなるのか」日本経済新聞出版 ・ 黒崎 卓、山形 辰史（2017）「開発経済学：貧困削減へのアプローチ」日本評論社 ・ Mans Soderbom, Francis Teal, Markus Eberhardt, Simon Quinn, Andrew Zeitlin, 2014, Empirical Development Economics, Routledge							